**●市、観光協会等の役割の明確化**

**観光協会のスムーズな１本化に向け、ひと、もの、金、権限等について市と観光連絡協議会、各観光協会の役割を明確にするとともに、各地域での観光協会と地域の関係団体との意思の疎通が図れるよう、柔軟な対応と指導、支援をすること。**

【回答】

・観光協会の一本化については、市町村合併以来、重要課題と認識しており各観光協会と議論を重ねておりましたが、令和元年度より本格的な協議を再開しました。

リニア開業を見据え、またコロナ禍における統一組織の必要性の更なる高まりと、市全体の一体的な取り組みの重要性を再認識し、オール中津川での観光振興を図るため、令和４年３月２５日に市内６観光協会を包括する上部組織として「中津川市観光局」がようやく新たに発足しました。市としましては、民間的な発想により、経営視点での取り組みに期待をしております。

・中津川市観光局においては、固定概念を取り払い、民間のアイデアやノウハウを活かした新たな視点やリニアを見据えた広域的な視点により、行政、事業者や市民（地域）とともに積極的に観光振興に取り組むとともに、持続可能な観光地経営の実現に向け取り組んでまいります。

・市、中津川市観光局、各観光協会の役割については、中津川市観光振興ビジョン及びアクションプランにおいて、観光産業の確立に向けた主な役割を示しておりますが、中津川市観光局がコーディネーター役となり各観光協会と連携し一体となった取り組みを推進します。

・各観光協会と各地域の関係団体との関係性については、事業者・地域との調和により取り組みが推進できるよう、必要に応じ支援を行います。

●観光振興に向けた総合的な支援

観光協会の１本化及び今後の観光振興、地域の魅力向上に向け、総合的な支援をすること。

・観光協会の１本化に向けたプロデューサー的人材及び１本化後の観光協会内の人材育成を担う外部専門家の一定期間の派遣

・観光協会１本化後における新組織の運営確立及び観光産業の確立に向けた、期限を設けた財政支援

・観光振興の推進に向けたあらゆる活動のデジタルシフトへの支援

・観光のデジタルシフトにおいて、観光事業の指標の設定と検証が可能なシステムの構築援

【回答】

・３月議会では、補正予算や当初予算をご審議いただき、観光振興施策、並びに中津川市観光局の設立にご理解を賜り、改めて、感謝申し上げます。

・今後の観光振興に向けては、市と中津川市観光局が連携し、市の魅力向上に向けて取り組むとともに、中津川市観光局が主体的な取り組みを推進できるよう、当面自立化に向けた側面支援を行います。

・特に、中津川市観光局が、観光産業の確立に向け滞在時間や観光消費額の増加など戦略的な観光施策の展開を図れるよう、CMO（※）人材の確保及び外部専門家についても一定期間の派遣（財政支援）を行います。

また中津川市観光局に対しては、当面３年間の人的支援及び財政支援を行い、新組織の運営及び観光産業の確立に向けて伴走します。

・観光推進に向けたデジタルシフトについて、観光庁は観光サービスの変革と観光需要の創出に分けて事業を展開しており、当市としても、今後は国県等の DX 計画を基に、体験価値の向上や観光消費額の増加につながるような取り組みの研究を進めます。

（※）CMO…Chief Management Officer の略。マーケティング戦略を立案し実行する人

●観光情報の充実と発信

中津川市全体の動画を活用した観光プロモーションを充実するとともに、その情報を各観光協会と共有し、内外に広く発信すること。

・観光協会と協議のうえ、中津川市全体の観光資源の魅力を表現した観光プロモーションとする

・リニア中央新幹線の岐阜県の玄関口となることを踏まえ、市内外への観光ルートも含めた観光プロモーションとする

【回答】

・動画を活用した観光プロモーションについては、これまでも市独自での発信のほか、広域連携事業においても、テーマや歴史的背景をもとに、情報発信を展開しています。

・今後制作する動画についても、市の YouTube での配信やインスタグラムなど SNS で発信するほか、中津川市観光局をはじめとした関連団体等とも共有を図り、市が持つ観光資源の魅力を最大限発信できるよう取り組んでまいります。

・また観光資源の魅力の付加価値を高めるため、民間企業とも連携し新たな観光資源の見せ方などを研究し、戦略的な観光プロモーションについても検討します。

・リニア中央新幹線の岐阜県の玄関口になることを踏まえ、岐阜県が策定しているリニア中央新幹線活用戦略を基に、市内での周遊滞在時間の増加に向けた取り組みや、東美濃歴史街道協議会、下呂・飛騨、尾張藩関連自治体など近隣市町村等との連携による観光プロモーションを推進します。

●観光交通に関連するインフラ整備の推進

観光需要に対応し観光振興を促進するため、インフラを整備拡充すること。

・アフターコロナの観光入込客数の回復のためにも、（仮称）神坂スマートインターチェンジの一日も早い完成

・濃飛横断自動車道（中津川～下呂間）とリニア中央新幹線の着実な整備に向けた国、県への要望の継続

・観光地までの二次交通の整備促進

【回答】

・観光交通に関連するインフラ整備については、国土交通省等と連携し、関係各所への要望等を引き続き積極的に行うとともに、観光地までの二次交通の整備促進に向けて関係機関と協議を進めます。

・また観光においては、快適で安全に目的地に到達することや滞在時間を有効利用するためにもインフラ整備は重要であると捉えています。市内周遊の行程において目にすることができる景色自体が観光資源であり、早く目的地に着けば良いという考え方だけではなく、市内をのんびりと周遊し景色等を楽しんでいただく中で癒しが得られるような「ストレスマネジメントができるまち」の取り組みも検討してまいります。